

2013年7月29日

プレスリリース

本資料は7月25日にチューリッヒで発表されたプレスリリースの翻訳版です

クレディ・スイス・グループ

2013年第2四半期業績および同年上半期業績を発表

- **第2四半期業績**：コア税引前利益 15 億 3,400 万スイス・フラン (CHF)、前年同期比 38%増
株主に帰属する純利益 10 億 4,500 万 CHF、
株主資本利益率 10%
- **上半期業績**：コア税引前利益 33 億 5,600 万 CHF、前年同期比 192%増
株主に帰属する純利益 23 億 4,800 万 CHF
株主資本利益率 12%、基礎的*株主資本利益率 13%、

2013年第2四半期 事業部門別業績：

- **プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門**：高収益力を見せ、税引前利益 10 億 1,700 万 CHF、コスト・インカム・レシオ 69%（いずれも、英国源泉徴収税費用 1 億 CHF を除く）。公表税引前利益 9 億 1,700 万 CHF、新規純資産 76 億 CHF、新興市場からの大幅な資産流入を反映。ウェルス・マネジメント顧客事業のグロス・マージンは、2013年第1四半期の 109 ベーシス・ポイント (bp) から 111 bp へ上昇。
- **インベストメント・バンキング部門**：税引前利益は 7 億 5,400 万 CHF、前年同期の 3 億 1,400 万 CHF の倍以上と好調。バーゼル3リスク加重資産 (RWA)：2013 年末目標額の 1,750 億米ドルに対して 1,770 億米ドル。バーゼル3配賦資本利益率：2013年第2四半期 12%、同年上半期 18%で、市場シェア・モメンタムを維持。

資本基盤強化計画の継続実施と貸借対照表のスリム化：

- 2013 年第 2 四半期のルックスルーのスイス国内コア資本比率は 10.4%、残りの資本強化措置が完了することを前提とした試算ベースで 10.6%、いずれも目標比率 10%を上回る。これらの比率は、現金配当金の支払い再開にかかる上半期末払い費用計上分を含む。
- スイス国内レバレッジ・エクスポージャーを 2012 年第 3 四半期末から 1,470 億 CHF 引下げ、2013 年末設定目標額の達成に向けて順調に推移。スイス国内レバレッジ・レシオの段階的適用により、2013 年末には約 4.5%になる予定（コンセンサス収益予想の使用を含む）。

コスト節減対策の更なる進捗状況：

- 年率換算で 27 億 CHF の 2013 年上半期のグロス・コスト*削減を達成。2011 年上半期調整済み*年率換算ランレート対比で 2015 年末までに費用ランレート削減目標 44 億 CHF を達成できる見通し

クレディ・スイス・グループは、2013年7月25日、2013年第2四半期業績および同年上半期業績を発表しました。

今回の発表について、最高経営責任者（CEO）のブレイディ・ドゥーガンは、次のように述べました。

「2013年上半期の基礎的株主資本利益率が13%および同年第2四半期の基礎的株主資本利益率が10%となり、当社の事業モデルが好調な業績を上げているほか、コスト基盤と貸借対照表のスリム化も引き続き順調な進展を見せています。ルックスルーのスイス国内コア資本比率は、2013年第1四半期末現在の9.6%から同年第2四半期末現在10.4%へと大幅に上昇しました。年の半ばで、年の目標比率10%を超えることができ嬉しく存じます。バーゼル3に基づく業務運営体制への移行を受けて、強力な資本基盤を踏まえ、当社は、同業他社の中で最も高い株主資本利益率を上げている企業の一つとなっています」。

プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門の業績について、ドゥーガンは次のように続けました。

「プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門は、引き続き好調な顧客活動を背景に、当四半期は純収益34億2,400万CHFを計上しました。ウェルス・マネジメント顧客事業のグロス・マージンは、2013年第1四半期の109ベース・ポイント（bp）から当四半期には111bpへと改善しましたが、これは、トランザクション・ベースおよび運用業績ベースの収益拡大によるものです。当部門の当四半期のコスト・インカム・レシオは69%に改善しました（英国源泉徴収税費用を除く。）」。

インベストメント・バンキング部門について、「インベストメント・バンキング部門は、バーゼル3配賦資本利益率について、2013年第2四半期で12%、同年上半期では18%を達成しました。これは、2012年上半期の9%の倍に当たり、本年通期のグループ全体の株主資本利益率目標15%以上をサポートするものです。このことは、2013年上半期のコスト・インカム・レシオ72%と相まって、バーゼル3への円滑な移行、多角化事業モデルの効果、資本および業務の大幅な効率改善の具体的な表れです。当部門の当四半期の純収益は34億CHF、税引前利益は7億5,400万CHFを記録し、前年同期の3億1,400万CHFの倍以上となりました」。

クレディ・スイス・グループの全体的なポジションについて、「当社は、これまで、新しい規制の枠組みとの整合性を図るべく、事業モデルの改革を積極的に進めてまいりました。ルックスルーのバーゼル3リスク加重資産（RWA）の削減に取り組み、グループの2013年度末目標額2,850億CHFを計画よりも半年以上も早く達成しました。スイス国内レバレッジ・エクスポージャーについては、過去9ヶ月での削減幅は2013年第2四半期末現在1,470億CHFとなり、2013年末目標額の達成まであと700億CHFと、順調な進展を見せています。更に、ルックスルーのスイス国内コア資本比率では、目標の10%を既に上回っています」。

市場環境についてドゥーガンは、「金利が上昇に転じ、2013年第2四半期の後半には、これが、市場ボラティリティの上昇と顧客活動の縮小につながりました。このボラティリティの上昇は、7月に入っても続きました。もっとも、直近では、当社の主要市場では、安定化の兆しも見受けられますが。長期的には、金利上昇への移行は、当社の事業、すなわち、当社のプライベート・バンキング&ウェルス・マネジメントのグローバルなフランチャイズ事業と、顧客重視で資本効率性の高いインベストメント・バンキング事業の双方にとって、今後追い風となるでしょう」と結びました。

2013年第2四半期業績の概要

決算ハイライト					
単位：百万 CHF (別途記載がある場合を除く)	2013年 第2四半期	2013年 第1四半期	2012年 第2四半期	2013年 上半期	2012年 上半期
公表税引前利益(コア業績)	1,534	1,822	1,111	3,356	1,151
基礎的*税引前利益(コア業績)	1,555	2,032	1,148	3,587	2,632
公表純利益 株主帰属ベース	1,045	1,303	788	2,348	832
基礎的*純利益 株主帰属ベース	1,041	1,462	815	2,503	1,870
公表希薄化後1株当たり利益(CHF)	0.52	0.75	0.44	1.28	0.49
株主資本利益率 株主帰属ベース (年換算)	10.1%	14.2%	9.2%	12.0%	4.9%
基礎的*株主資本利益率 株主帰属ベース (年換算)	10.0%	15.9%	9.3%	12.8%	10.8%
バーゼル3 CET 1比率(期末)	15.3%	14.6%	-	15.3%	-
スイス国内レバレッジ・レシオ(バーゼル3)	3.9%	3.8%	-	3.9%	-
1株当たり簿価合計(CHF)	26.63	28.83	27.10	26.63	27.10
1株当たり有形簿価(CHF)	21.11	22.09	20.13	21.11	20.13

プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門の2013年第2四半期の純収益は34億2,400万CHF、税引前利益は9億1,700万CHF：

- 純収益は、前年同期比安定的に推移。これは主として、トランザクション・ベースおよび運用業績ベースの収益の増加によるものですが、この増収は、顧客活動の改善および経常手数料/フィー収入の増加が、その他の収益と純利息収入の減少による減収によって一部相殺されたことによるものです。
 - ウェルス・マネジメント顧客事業：2013年第2四半期の税引前利益は5億2,900万CHF、純収益は23億3,700万CHFで前年同期を若干上回りましたが、これは、トランザクション・ベースおよび運用業績ベースの収益の増加と経常手数料/フィーの収入の増加が、純利息収入の減少の影響を相殺したことによります。
 - コーポレート&インスティテューショナル顧客事業：2013年第2四半期の税引前利益は2億4,400万CHF、純収益は5億2,500万CHFで、前年同期を若干下回りました。これは、純利息収入の減少が、トランザクション・ベースと運用業績ベースの収益の増加によって一部相殺されたものの、これを上回ったことによります。
 - アセット・マネジメント事業：2013年第2四半期の税引前利益は1億4,400万CHF、純収益は5億6,200万CHFで、前年同期から安定的に推移しました。これは、当四半期のフィー・ベース収益の増加によりますが、前年同期には、アバディーン・アセット・マネジメントの持株の一部売却益の計上という事情があります。
- プライベート・マネジメント&ウェルス・マネジメント部門の2013年第2四半期の新規純資産は76億CHF、2013年第2四半期末現在の運用資産は、1兆2,970億CHFで、前年同期末現在の実績を7%上回りました。
 - ウェルス・マネジメント顧客事業：新規純資産75億CHFの貢献。これは、新興国市場および超富裕顧客層(UHNWI)から引き続き大幅な資産流入があり、これが西欧市場からの資産が引き続き流出したことにより一部相殺されたことによります。
 - コーポレート&インスティテューショナル顧客事業：2億CHFの資産流出。これは、一部のスイス国内大手機関投資家が、一部のクレディ・スイスのインデックス商品を換金して投資戦略のリバランシングを図ったことによるものです。

- ・アセット・マネジメント事業：新規純資産 15 億 CHF の貢献。これは主として、クレジット金融商品、ヘッジファンド、債券および株式商品、マルチアセットクラス・ソリューションへの資産流入が、インデックス戦略からの資産流出、および当社が撤退を決めた事業からの資産流出 10 億 CHF によって一部相殺されたことによります。
- ・ 2013 年第 2 四半期の営業費用合計は、24 億 6,100 万 CHF で、前年同期を 3 % 上回りましたが、これは主として、スイス・英国二国間の源泉徴収税協定に関連した費用引当 1 億 CHF によるものです。コスト・インカム・レシオは、スイス・英国二国間の源泉徴収税協定関連費用引当を除いた場合、69%に改善します。

インベストメント・バンキング部門の 2013 年第 2 四半期の純収益は 34 億 CHF、税引前利益は 7 億 5,400 万 CHF :

- ・ 純収益は、前年同期比 24%増。これは、同部門の大多数の事業が増収となったことによります。
- ・ 債券セールス&トレーディング業務：2013 年第 2 四半期の収益は 12 億 5,700 万 CHF で、前年同期比 13%増となりました。これは、トレーディング状況の改善を反映して、ほとんどの債券業務で軒並み業績が改善したことによります。
- ・ 株式セールス&トレーディング業務：2013 年第 2 四半期の収益は 13 億 3,800 万 CHF で、前年同期比 24%増となりました。これは、ほとんどの株式業務にわたって顧客活動の活発化、市況の改善、市場シェアの強化が見られたことによります。
- ・ 引受およびアドバイザリー業務：2013 年第 2 四半期の収益は 9 億 900 万 CHF で、前年同期を 45%上回りました。これは債券引受、株式引受の両業務の増収が、M&A 手数料の減収によって一部相殺されたことによるものです。
- ・ 営業費用合計は 26 億 4,200 万 CHF で前年同期を 8 % 上回りましたが、これは主として、訴訟関連引当金の積増しと裁量的業績連動報酬費用の増加によるものです。
- ・ インベストメント・バンキング部門のバーゼル 3 配賦資本利益率については、2013 年第 2 四半期が 12%、上半期が 18%でした。
- ・ 2013 年第 2 四半期末現在のバーゼル 3 リスク加重資産 (RWA) は、1,770 億米ドルで、2013 年末目標額 1,750 億米ドルの到達に向けて順調に推移しています。

コスト削減の現状

2013 年第 2 四半期末現在、クレディ・スイス・グループは、2011 年上半期の実績から推定した調整済み*年率換算ランレートに対して、27 億 CHF のグロス・コスト削減*を達成しました。2015 年末までに達成すべき合計ランレート削減目標額は 44 億 CHF ですが、この達成に向けて引き続き順調に推移しています。当四半期中にコーポレート・センターが認識した事業再編成コストは 1 億 3,300 万 CHF でした。

統合事業モデルのメリット

2013 年第 2 四半期中に、クレディ・スイス・グループは、統合事業モデルから 11 億 9,100 万 CHF のコラボレーション収益を創出しました。この金額は、当グループの 2013 年第 2 四半期の純収益の 17%に相当します。

資本および資金調達

2013年第2四半期末現在、クレディ・スイス・グループのルックスルーのスイス国内コア資本比率は、10.4%で、先に発表した2013年半ばまでに掲げた10%の目標を上回りました。2012年7月に発表した残りの措置の完了を前提とした試算ベースの同比率は、10.6%でした。これらの比率の算定には、2013年について予定している現金配当金の支払いの再開にかかる未払い費用の比例按分による計上分が含まれています。2013年第2四半期末現在、クレディ・スイス・グループのバーゼル3普通株式等Tier 1 (CET 1) 比率は15.3%、2013年第1四半期に比べて0.7パーセンテージ・ポイント上昇しましたが、これはCET 1資本の増加とリスク加重資産 (RWA) の増加を反映しています。

2012年10月、クレディ・スイス・グループは、外国為替変動を考慮しないベースで、貸借対照表上の総資産を、2012年第3四半期末から更に1,300億CHF、すなわち13%削減し、2013年末までに9,000億CHFに削減するという目標に向けた措置を発表しました。2013年第2四半期末現在、貸借対照表上の総資産残額は9,200億CHFで、2013年第1四半期末現在から270億CHF減少しましたが、これは2012年10月に発表した貸借対照表スリム化施策関連対策および外国為替換算の影響によるものです。

クレディ・スイス・グループは、また、2013年末までに、スイス国内のレバレッジ・エクスポージャー（貸借対照表 (B/S) 上の総資産とオフ・バランス・エクスポージャーを含む。）を1兆1,900億CHFに減らすという目標を発表しました。グループの2013年第2四半期末現在のレバレッジ・エクスポージャーは、1兆2,580億CHFで、2013年第1四半期末現在の1兆2,880億CHFを下回りました。グループのレバレッジ・レシオの段階的適用については、2013年末までに約4.5%の達成を目標に据えています（コンセンサス収益予想の使用を含む。）。2013年第2四半期末現在、グループのスイス国内段階的適用レバレッジ・レシオは3.9%でした。2019年1月1日に適用されるスイス国内のレバレッジ・レシオ要件は4.2%です。

クレディ・スイス・グループは、引き続き保守的に流動性の管理を行っており、2013年第2四半期末現在、現行FINMA枠組に基づく推定長期安定調達比率 (NSFR) は100%を超えており、スイス国内規制に基づく短期流動性の要件も満たしています。

部門別業績詳細

部門別業績		2013年	2013年	2012年	2013年	2012年
単位：百万CHF (別途記載がある場合を除く)		第2四半期	第1四半期	第2四半期	上半期	上半期
プライベート バンキング& ウェルス マネジメント	純収益	3,424	3,285	3,398	6,709	6,873
	貸倒引当金繰入額	46	28	40	74	79
	営業費用合計	2,461	2,376	2,381	4,837	4,866
	税引前利益	917	881	977	1,798	1,928
	コスト・インカム・レシオ	71.9%	72.3%	70.1%	72.1%	70.8%
インベストメント バンキング	純収益	3,400	3,945	2,751	7,345	6,710
	貸倒引当金繰入額	4	(6)	(15)	(2)	(20)
	営業費用合計	2,642	2,651	2,452	5,293	5,509
	税引前利益	754	1,300	314	2,054	1,221
	コスト・インカム・レシオ	77.7%	67.2%	89.1%	72.1%	82.1%

プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門

グローバル・ベースのウェルス・マネジメント顧客事業、スイス国内のコーポレート&インスティテューショナル顧客事業、グローバル・ベースのアセット・マネジメント事業で構成されるプライベート・バンキング&アセット・マネジメント部門の2013年第2四半期の税引前利益は9億1,700万CHF、純利益は34億2,400万CHFでした。純利益は2013年第1四半期を4%上回りましたが、これは、トランザクション・ベースと運用業績ベースの収益増と経常手数料/フィーの収入増によります。前年同期と比較すると、純収益は安定的に推移しました。これは、顧客活動の改善によるトランザクション・ベースと運用業績ベースの収益増および経常手数料/フィーの収入増が、その他の収益と純利息収入の減少によって一部相殺されたことによります。

営業費用合計は24億6,100万CHFで、2013年第1四半期比4%増、前年同期比3%増となりましたが、これはスイス・英国二国間の源泉徴収税協定に関連した1億CHFの費用引当てによるものです。2013年7月5日に発表したとおり、この税引後のマイナスの影響は、9,000万CHF未満となる見込みです。

ウェルス・マネジメント顧客事業の2013年第2四半期の税引前利益は5億2,900万CHF、純収益は23億3,700万CHFで、2013年第1四半期を5%上回りました。トランザクション・ベースおよび運用業績ベースの収益の増加、経常手数料/フィーの収益の増加、純利息収入の増加が、その他の収益の減少（2013年第1四半期は、JOハンブルグ・インベストメント・マネジメント社の売却益の計上があったため）によって一部相殺されたことによるものです。前年同期と比較した場合、純収益は若干増加しました。これは、トランザクション・ベースおよび運用業績ベースの収益増と経常手数料/フィーの収益増が、純利息収入の減少とその他の収益の減少によって一部相殺されたことによります。その他収益が前年同期比減となったのは、2012年第2四半期に、クラリデン・ロイの統合化によるノン・コア事業売却益4,100万CHFの計上があったためです。2013年第2四半期のグロス・マージンは、111ベーシス・ポイント（bp）で、2013年第1四半期に比べ2bp上昇しましたが、これは主として、トランザクション・ベースと運用業務ベースの収益の増加と経常手数料/フィーのマージンの安定的推移によるものです。一方、前年同期に比べた場合、グロス・マージンは、8bp低下しましたが、これは、長引く不利な金利環境、UHNWI顧客層（グロス・マージンが低いが高収益力が高い）の成長による影響によるものです。

コーポレート&インスティテューショナル顧客事業は、スイス国内のコーポレート&インスティテューショナル顧客および世界中の銀行からのニーズに対応した包括的サービスを提供しています。2013年第2四半期の税引前利益は2億4,400万CHF、純収益は5億2,500万CHFで2013年第1四半期と比較すると安定的に推移しました。これは、経常手数料/フィー収入と、トランザクション・ベースおよび運用業務ベースの収益が、それぞれ若干増えたものの、その他の収益の減少によって一部相殺されたことによります。一方、前年同期比では、純収益は若干減少しましたが、これは、純利息収入の減少が、トランザクション・ベースおよび運用業務ベースの収益の増加によって一部相殺されたものの、これを上回ったことによります。2013年第2四半期の営業費用合計は、2013年第1四半期を若干下回ったほか、前年同期を8%下回りました。コスト・インカム・レシオは49%で、2013年第1四半期の50%、前年同期の52%に比べ改善されました。2013年第2四半期の貸倒引当金繰入額は、正味融資ポートフォリオ630億CHFに対して2,600万CHFを計上しましたが、これは信用ポートフォリオを適切に分散していることおよび確実なリスク管理を反映しています。

アセット・マネジメント事業の2013年第2四半期の税引前利益は1億4,400万CHF、純収益は5億6,200万CHFで2013年第1四半期を5%上回りましたが、これはフィー・ベースの収益の増加が、投資関連利益の減少を相殺し、これを上回ったことによります。純収益は、前年同期と比較して安定的に推移しましたが、これは、フィー・ベースの収益の増加が、資本参加による収入およびその他の利益の相対的な減少（2012年第1四半期にはアバディーン・アセット・マネジメントの持分の一部売却益6,600万CHFが含まれます。）によって相殺されたことによります。

インベストメント・バンキング部門

インベストメント・バンキング部門の2013年第2四半期の純収益は34億CHF、税引前利益は7億5,400万CHFを計上しました。当四半期の好業績は、1年前と比較するとより安定したものでありますが、このことは同部門の多角的かつ資本効率性の高い事業モデルの効果の反映であります。当四半期の純収益は、2013年第1四半期に比べ14%減少しましたが、これは、株式セールスおよびトレーディングと引受およびアドバイザリーの各業務の増収よりも、債券セールスおよびトレーディング業務の減収が上回ったことによります。2012年第2四半期に比べ、純収益は24%増加しましたが、これはほとんどの業務の業績が改善したことによります。

債券セールスおよびトレーディング業務：収益は12億5,700万CHFで、時季的に好調であった2013年第1四半期に比べ、37%減となりました。2013年第2四半期の特徴としては、前半が好調であったものの、後半は、顧客活動に悪影響を及ぼす金利上昇を反映した市場ボラティリティの上昇により、更に困難な市況となったことが挙げられます。前年同期に比べて、債券セールスおよびトレーディング業務は13%の増収となりましたが、これは、トレーディング状況の改善を受けて、ほとんどの業務で業績が向上したことによります。

株式セールスおよびトレーディング業務：収益は13億3,800万CHFで、2013年第1四半期比3%増、2012年第2四半期比24%増となりました。この増収は、顧客活動の活発化、市況の回復、当社株式業務全般における市場シェアの堅持によるものです。

引受およびアドバイザリー業務：収益は9億900万CHFで、2013年第1四半期を19%上回りました。これは、社債と株式の引受業務の増収によるものです。2012年第2四半期と比べた場合、当四半期の収益は45%増加しましたが、これは、社債と株式の引受業務の増収がM&A手数料収入の減少によって一部相殺されたことによります。

従業員の報酬および給付は、2013年第1四半期から安定的に推移しましたが、これは主として、過去数年に付与した繰延報酬費用の減少が、裁量的業績連動報酬関連費用の増加によって一部相殺されたことによるものです。一方、2013年第2四半期の従業員の報酬および給付は、前年同期から4%増加しましたが、これは主として、業績向上に伴う裁量的業績連動報酬関連費用の増加が、人員削減による給与の減少によって一部相殺されたことによるものです。その他の営業費用合計は、2013年第1四半期から安定的に推移しました。前年同期比では、13%増加しましたが、これは主として訴訟関連引当金の増加によるものです。

コーポレート・センター

コーポレート・センターは、2013年第2四半期に税引前損失1億3,700万CHFを計上しました。これには事業再編費用1億3,300万CHFが含まれています。当四半期の業績には、自社社債の公正価値評価益1,700万CHF、一定のストラクチャード・ノート負債の借方評価調整に伴う利益7,900万CHF、単独デリバティブの公正価値評価益3,400万CHFが含まれており、これら3つの項目に関する利益の合計額1億3,000万CHFが当四半期に計上されました。2013年第1四半期は3億5,900万CHFの税引前損失、2012年第2四半期は1億8,000万CHFの税引前損失を計上しています。

(注*) 基礎的および調整済みの業績は、GAAPによらない財務評価基準によるものです。基礎的業績を米国GAAP評価基準とほぼ直接比較できるように調整したものについては、本リリース(英文原本)の添付資料A(Annex A)「Reconciliation to underlying results - Core Results(基礎的業績の調整:コア業績)」をご覧ください。調整済み年率換算ベースの費用ラニレートの算定の詳細については、2013年第2四半期業績説明会用スライドをご覧ください。なお、本リリースに記載したグロス・コスト削減には、2013年第2四半期業績説明会用スライドに掲載の特定費用項目は含まれておりません。